

ルーズリーフ式 戦跡・基地ガイドブック

歩く・みる・考える 沖縄

沖縄県高教組南部支部 編
平和教育研究委員会



ルーズリーフ式
戦跡・基地
ガイドブック

歩く・みる・考える
沖縄

沖縄県高等学校
教職員組合南部支部編
平和教育研究委員会



沖縄時事出版

読者へ

沖縄に立つと日本列島がよく見えるといわれます。

独特の自然と歴史と文化につつまれて、戦跡と基地が向かいあっている島。その悲惨な戦場体験から、戦争の実相を次代に語りつぎ、平和の尊さを世界に向かって訴えつづける沖縄。——ここにもう一つの日本の縮図があります。

沖縄の風土と沖縄の心を求めて、この南海の島々を訪ねる人びとが年々増えています。しかし、現在の観光コースにはもはや沖縄の素顔は見られません。沖縄の現実の姿を正しくとらえるには、どうしても自分の足と自分の眼に頼るしかないのです。

汗を流して現場を歩き、そこで学び、そこで考え、そこから何かを発見しようとする人びとのために、実用的で、すぐに役立つガイドブックが必要です。実際に、現地で、これまで沖縄戦や基地問題・平和教育や歴史教育にたずさわってきた私たちがそのことを痛感してきました。

本書は、私たちの実践体験の結晶として生まれたものです。

- ・この1冊を持参すれば、どなたでも沖縄の戦跡と基地を巡見することができます。
- ・この1冊を用意すれば、どなたでも戦跡・基地のガイドを務めることができます。
- ・この1冊を、より具体的な平和教育のテキストとして活用することができます。
- ・この1冊には、沖縄戦と基地問題に関する最新の調査・研究に基づく生きた情報が盛り込まれています。
- ・この1冊を通読すれば、沖縄戦から現在に至るまでの戦後沖縄の歩みを理解することができます。

沖縄を歩き、みて、考え、そして再発見をめざしているあなたに、この1冊をおくります。

沖縄県高等学校教職員組合南部支部
平和教育研究委員会

吉浜 忍 (南風原高等学校教諭)

平良 宗潤 (南部商業高等学校教諭)

宮原康一郎 (糸満高等学校教諭)

石原昌家 (沖縄国際大学教授)

大城将保 (沖縄県立図書館史料編集室主任専門員)

新里堅進 (スタジオ南洋少年)

村上有慶 (沖縄総合高等職業訓練校)



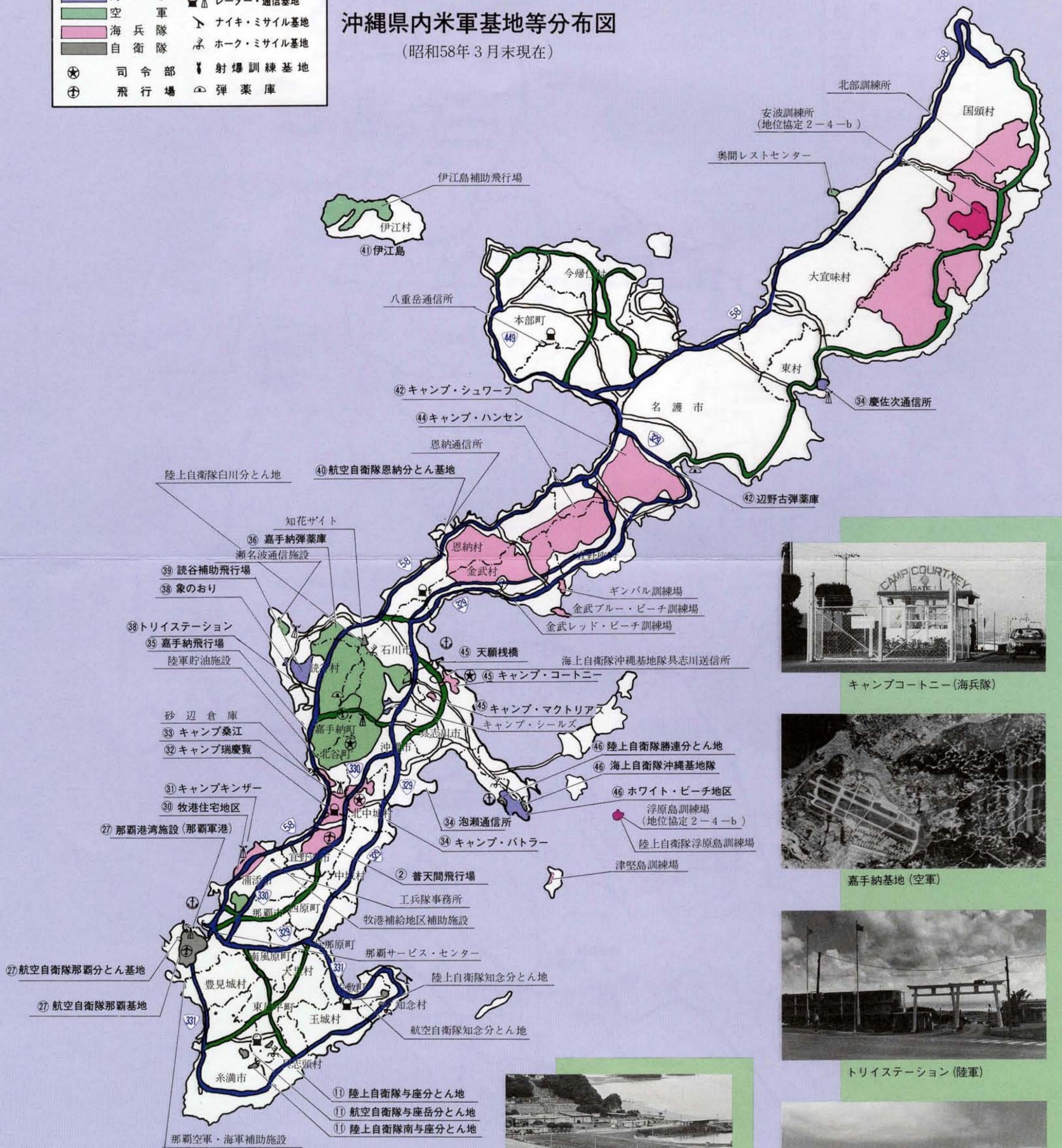
	コースプラン	平和学習モデルコース/入門コース/親子コース/テーマ別選択コース/戦跡・基地バス路線
	沖縄の素顔 島々の七つの特徴	小さくて広い島/亜熱帯の島/東洋のガラパゴス/ユニークな歴史と文化の島/戦場となった島/基地の島/アジアの架け橋
1	嘉数高地 沖縄戦初期に日米両軍の激戦場となった地	一進一退の争奪戦/弾薬運搬を強いられた住民/戦跡と基地をみる接点/嘉数高地の戦跡と周辺のイラストマップ
2	普天間飛行場 宜野湾市の中心に居座る海兵隊専用基地	第1海兵航空団のホームベース/核兵器専門要員の配置/基地に反対する市民の声/普天間飛行場周辺のイラストマップと主な航空機
3	浦添城址・前田高地 ありったけの地獄を一つにまとめた戦場	首里軍司令部の防衛線/戦場の村/歴史と文化のゆかりの地/前田部落の戦災地図/証言 決死の斬り込み
4	沖縄戦の経過 100日余の“鉄の暴風”	慶良間諸島の占領/米軍の無血上陸/北部山岳戦・島嶼戦/中部戦線の激闘/南部戦線/沖縄戦の経過表
5	第32軍司令部壕 「守礼の門」の地下に眠る作戦本部	延べ1kmの巨大な地下壕/沖縄語を使用している者はスパイ/司令部の南部撤退後/司令部壕の見取り図/司令部壕周辺の戦跡とイラストマップ
6	南部避難 戦場をさまよう避難民	死線をさまよう避難民/死の三叉路・十字路/戦場の人間模様/証言 激戦場を彷徨/又吉栄長の避難経路
7	南風原陸軍病院 地獄さながらの野戦病院の丘	軍病院、南風原へ移動/動員されたひめゆり学徒/足手まといは青酸カリで処置/証言 ままならぬひめゆり学徒/南風原陸軍病院の全体マップ
8	南部避難 II 戦場のさまざまな極限状況	根こそぎ動員/スパイ視/壕追い出しと幼児の殺害/集団自決/証言 避難途中のスパイ視
9	糸数壕(アブチラガマ) 沖縄戦追体験の代表的場所	陣地化した洞窟/1000名近い患者のうめき声/米軍の馬乗り攻撃/住民スパイ視虐殺事件の発生/壕内見取り図/証言 ウジの中から奇跡の生還
10	ガラビ壕 風葬跡に重なる戦争遺跡	全長500mの野戦病院壕/白梅学徒が見た惨劇/黒い影は“処置”された兵士の遺体/壕内見取り図/証言 ノコギリで骨を切断
11	八重瀬岳周辺の戦跡・基地 日本軍最後の抵抗線	山部隊病院壕と白梅学徒/航空自衛隊与座基地/陸上自衛隊与座・南与座基地/八重瀬岳周辺の戦跡イラスト
12	ギーザバンタ周辺の戦跡 住民がおいつめられた“自殺の断崖”	絶望の淵/証言 最後のどんづまり地点/投降勧告ピラ/貝志頭城跡の下にある陣地壕内見取り図
13	韓国人慰霊塔・沖縄平和祈念堂 虐殺の文字が刻まれた碑・平和祈念の大観音像	韓国人慰霊塔/沖縄平和祈念堂/摩文仁丘のイラストマップ
14	沖縄県立平和祈念資料館・摩文仁丘 沖縄戦の全体像を学ぶ場	沖縄県立平和祈念資料館/摩文仁丘/平和祈念資料館の設立理念/沖縄戦はいつ終わったか/各都道府県慰霊塔の建立状況
15	沖縄師範健児の塔 戦場にかり出された生徒たち	15~19才の鉄血勳皇隊員/死と隣り合わせの任務/鉄血勳皇隊の動員数・戦死者・戦死率表/鉄血勳皇隊の主な任務
16	魂魄の塔 無告の民の無言の告発	慰霊の塔のある風景/地獄と化した米須原/住民が最初につくった慰霊の塔/沖縄戦の犠牲者/遺骨収集/住民が建てた慰霊の塔とその収骨数表
17	ひめゆり最期の地 軍国主義教育の悲劇	喜屋武半島に集結/解散後の悲劇/対照的な2つの壕/証言 苦しいよう!殺して、殺して!ひめゆり最期の地イラストマップ/女子学徒隊の動員数・戦死者・戦死率表
18	喜屋武岬周辺の戦跡 点在する知られざる戦跡	マヤーガマ/貝志川陣地跡/防疫給水部隊壕/喜屋武一帯の戦闘/証言 日本兵に壕から追い出された住民/喜屋武岬周辺の戦跡イラストマップ
19	米須部落 いまでも残る“一家全滅”屋敷跡	修羅場と化した部落/米須の被災状況/忠霊之塔/米須部落の戦災地図/証言 壕追い出しのショック・水くみ
20	南北之塔・山雨の塔 虐殺の地にたつ対照的な二つの塔	全世帯の1/3が一家全滅/アイヌ兵士と真栄平部落住民との友情の架け橋/皇軍賛美の碑文/証言 人間でなくなる日/日本軍による住民犠牲表
21	萬華之塔・千人壕・砲兵山吹之塔 さまざまな惨劇の舞台	沖縄戦の落とし子、三和村/避難民の吹きだまり、千人壕/勇戦敢闘を讃える砲兵山吹之塔/証言 洞窟の中

22	白梅之塔周辺の戦跡 逃げ場を失った住民	弾よけにされた住民／白梅学徒隊の悲話／終戦後も潜伏／戦場に放り出された白梅学徒隊
23	国吉・真栄里部落 米軍の無差別報復殺戮	一変したのどかな農村／証言でみるバックナー中將の死／バックナー中將の戦死の地／証言 空中に飛び散る避難民の群
24	轟の壕 日本兵の横暴におののく住民	知事・県首脳の出陣彷徨／住民を脅かす日本兵／米軍の住民救出／証言 日本兵生カシマスカ殺 シマスカ
25	集団自決の島・慶良間諸島 日米両軍のはざままで生じた集団自決	1945年3月26日米軍上陸／集団自決／証言 集団自決／米第77師団慶良間諸島攻略図／集団自 決に使った道具
26	沖縄戦の特徴 国体護持のために捨て石にされた沖縄	日米最後の地上戦闘／沖縄戦の悲劇を増大させた皇軍の論理／平和資料館「展示むすびのことば」 ば」／反戦歌 カンボーぬええ残さー
27	那覇空港・那覇軍港 軍民雑居の那覇空港・中東直結の那覇軍港	危険な空港／前線への積み出し港／那覇空港での主な事故発生表／かくされる遭難の真実・遭 難死没者数表
28	那覇市内の戦跡 繁栄の陰にたつ鎮魂の碑	十・十空襲と那覇の戦闘状況／対馬丸遭難事件と小桜の塔／沖縄県立二中健児の塔／沖縄県立 二中高等女学校跡／積徳高等女学校慰霊の碑／しずたまの碑／那覇市内の戦跡イラストマップ
29	海軍壕 問われる戦跡観光のあり方	海軍沖縄根拠地隊／当時のままの壕内／賛否両論の大田電文／豊見城城跡公園内の野戦病院壕 跡／野戦病院壕内見取り図／大田司令官の息子の感想
30	牧港住宅地区・シュガーローフ 土地取り上げ後、米軍人の高級住宅街に	支配者の住宅／大激戦地、シュガーローフ／米軍のための住宅建設／思いやり予算
31	キャンプ・キンザー（牧港補給基地） トイレットペーパーからミサイルまで	極東最大の補給基地／仲西飛行場／証言 女でも引っ張ってこい／在沖米軍の特徴－海外にお かれた世界唯一の海兵師団
32	キャンプ瑞慶覧（キャンプ・フォスター） 在沖海兵隊の本拠地	原子砲の見える基地／伊佐浜土地闘争／軍用地の強制使用／土地取り上げの経緯
33	キャンプ桑江・特攻艇の壕 極東最大の軍病院	極東最大の軍病院／特攻艇の壕／証言 軍艦に向かうベニヤ製の特攻艇／北谷の基地－爆音訴 訟
34	キャンプ・バトラー（キャンプ・フォスター） 集中する海兵隊司令部	高等弁務官がいた丘・ライカム／海兵隊が主役の座に／米国民政府とは／C3 Iシステム
35	嘉手納基地 I 極東最大の米戦略空軍基地	歴史／規模／リトルアメリカ／嘉手納の核機能／嘉手納の基地機能
36	嘉手納基地 II 基地の中のオキナワ	世界最大の嘉手納弾薬庫／C I R F（集中中修施設）／ラブコンワソー 沖縄の空の支配者 ／オイルターミナル／B61核爆弾／基地維持の政府と相入れぬ住民生活
37	読谷の戦跡 米軍が上陸の第一歩をしるした村	読谷／比謝川河口の特攻艇壕／読谷補助飛行場／座喜味城跡／チビチリガマ／読谷村の戦跡・ 基地イラストマップ
38	読谷の基地 I スパイ諜略基地	トリステーション／象のおり／悪魔の部隊、グリーンベレー
39	読谷の基地 II 激化するパラシュート降下訓練	読谷補助飛行場／FBI S（海外放送情報サービス）／読谷の基地とたたかい
40	遊撃隊（ゲリラ） 沖縄戦に参加した陸軍中野学校出身兵	鉄血勤皇隊も遊撃隊に編成／離島にもぐりこんだ遊撃隊／恩納分とん地／在沖自衛隊の特徴
41	伊江島の戦跡・基地 米軍と農民のたたかひの島	伊江島の戦闘／土地接収と村民のたたかひ／陳情規定／米軍と農民の会話
42	辺野古弾薬庫・キャンプ・シュワープ 戦術核専門部隊のいる基地	辺野古弾薬庫／辺野古の街の変遷／キャンプ・シュワープ／米核戦略と日米合同演習
43	収容所 テント小屋から始まった戦後生活	屋敷収容所／難民収容所／収容所の位置と人口／山原疎開／終戦直後の流行語
44	キャンプ・ハンセン、喜瀬武原 弾痕なまなましい恩納岳	基地の門前町、金武／県道104号線越え実弾射撃演習／キャンプ・ハンセン、喜瀬武原イラ ストマップ
45	天願周辺の基地 紛争地域への先兵、第三水陸両用部隊	キャンプ・コートニー／キャンプ・マクトリアス／天願棧橋／昆布の土地を守るたたかひ／沖 縄の長期軍事占領を提案した天皇メッセージ
46	ホワイトビーチ周辺の基地 太平洋につきでた前線海軍基地	ホワイトビーチ／海上自衛隊沖縄基地隊／陸上自衛隊－勝連分とん地／日米安保と沖縄返還協 定
47	基地の街・コザ 戦後沖縄の縮図	嘉手納基地の門前町／ベトナム戦争で繁栄した「街／ロックとファッションの街／写真でみ るコザの変遷／コザ事件

凡 例			
	陸 軍		軍 港
	海 軍		レーダー・通信基地
	空 軍		ナイキ・ミサイル基地
	海 兵 隊		ホーク・ミサイル基地
	自 衛 隊		射爆訓練基地
	司令部		弾薬庫
	飛行場		

沖縄県内米軍基地等分布図

(昭和58年3月末現在)



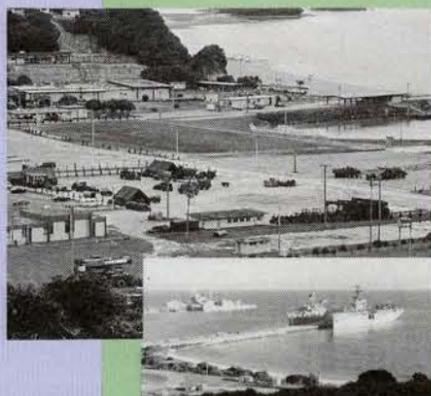
キャンプコートニー(海兵隊)



嘉手納基地(空軍)



トリステーション(陸軍)



ホワイトビーチ(海軍)



キャンプ・バトラー(司令部)

コースプラン

(注) ①～④⑦は本書ガイドナンバー

平和学習モデルコース (1日・バス利用)

1. 戦跡コース

- 午前 → ①嘉数高地か → ③浦添城址・前田高地 → ④ → ⑤第32軍司令部壕 → ⑥ → ⑦南風原陸軍病院 → ⑧ → ⑨系数壕か → ⑩ガラビ壕 → ⑬韓国人慰霊塔・沖繩平和祈念堂 → ⑫ギーザバンタ周辺の戦跡 [昼食]
- 午後 → ⑭沖縄県立平和祈念資料館・摩文仁丘 → ⑯魂魄の塔 → ⑰ひめゆり最期の地 (ひめゆりの塔) → ⑱米須部落 → ⑲南北之塔・山雨の塔か → ⑳萬華之塔・千人壕・砲兵山吹之塔
- ⑳白梅之塔周辺の戦跡か → ㉕㉖ → ㉗国吉・真栄里部落 → END

2. 基地コース

- 午前 → ⑳牧港住宅地区シュガーローフ → ㉑キャンプ・キンザー → ㉒普天間飛行場 → ㉓キャンプ瑞慶覧 → ㉔キャンプ桑江・特攻艇の壕 → ㉕嘉手納基地 [昼食]
- 午後 → ㉖遊撃隊 (恩納分とん地) → ㉗伊江島の戦跡・基地 (伊江島を見る) → ㉘辺野古弾薬庫・キャンプ・シュワープ → ㉙キャンプ・ハンセン喜瀬武原 → END

3. 基地・戦跡コース

- 午前 → ⑳牧港住宅地区・シュガーローフ → ㉑キャンプ・キンザー → ①嘉数高地 (普天間飛行場) → ㉓キャンプ瑞慶覧 → ㉔キャンプ桑江・特攻艇の壕 → ㉕嘉手納基地 [昼食]
- 午後 → ⑦南風原陸軍病院 → ⑨系数壕か → ⑩ガラビ壕 → ⑭沖縄県立平和祈念資料館・摩文仁丘 → ⑰ひめゆり最期の地 (ひめゆりの塔) → ⑯魂魄の塔 → ㉗那覇空港・那覇軍港 → END

入門コース (半日・バス利用)

1. 戦跡コース

- ⑨系数壕か → ⑩ガラビ壕 → ⑭沖縄県立平和祈念資料館・摩文仁丘 → ⑯魂魄の塔 → ⑰ひめゆり最期の地 (ひめゆりの塔) → END

2. 基地コース

- ⑳牧港住宅地区・シュガーローフ → ㉑キャンプ・キンザー → ㉒普天間飛行場 (嘉数高地) → ㉓キャンプ瑞慶覧 → ㉔キャンプ桑江・特攻艇の壕 → ㉕嘉手納基地 → ㉖嘉手納基地 → ㉗読谷の基地I → ㉘読谷の基地II (座喜味城跡) → END

親子コース (1日・自家用車)

- 午前 → ①嘉数高地 → ⑤第32軍司令部壕 → ⑦南風原陸軍病院 → ⑨系数壕か → ⑩ガラビ壕 → ⑭沖縄県立平和祈念資料館・摩文仁丘 [昼食]
- 午後 → ⑯魂魄の塔 → ⑰ひめゆり最期の地 (荒崎海岸) → END

テーマ別選択コース

1. 一般住民避難コース

- ⑥南部避難I → ⑦南部避難II → ⑱萬華之塔・千人壕 → ㉒白梅之塔周辺の戦跡 → ㉓轟の壕 → ㉔喜屋武岬周辺の戦跡 → ⑯魂魄の塔

2. ひめゆり学徒隊コース

- ㉗那覇市内の戦跡 → ⑦南風原陸軍病院 → ⑨系数壕 → ⑰ひめゆり最期の地

3. 白梅学徒隊コース

- ㉗那覇市内の戦跡 → ⑪八重瀬岳周辺の戦跡・基地 → ⑩ガラビ壕 → ㉒白梅之塔周辺の戦跡

4. 碑文を考えるコース

- ①嘉数高地 (京都の塔) → ⑬韓国人慰霊塔 → ⑭摩文仁丘 → ⑯魂魄の塔 → ㉒萬華之塔 → ㉓南北之塔・山雨の塔

5. 核基地コース

- ①普天間飛行場 (嘉数高地) → ㉓キャンプ瑞慶覧 → ㉔キャンプ桑江・特攻艇の壕 → ㉕嘉手納基地 → ㉖辺野古弾薬庫・キャンプ・シュワープ

6. 通信基地コース

- ㉓キャンプ瑞慶覧 → ㉔嘉手納基地 → ㉕読谷の基地I → ㉖キャンプ・バトラ

7. 反戦地主の声を聞くコース

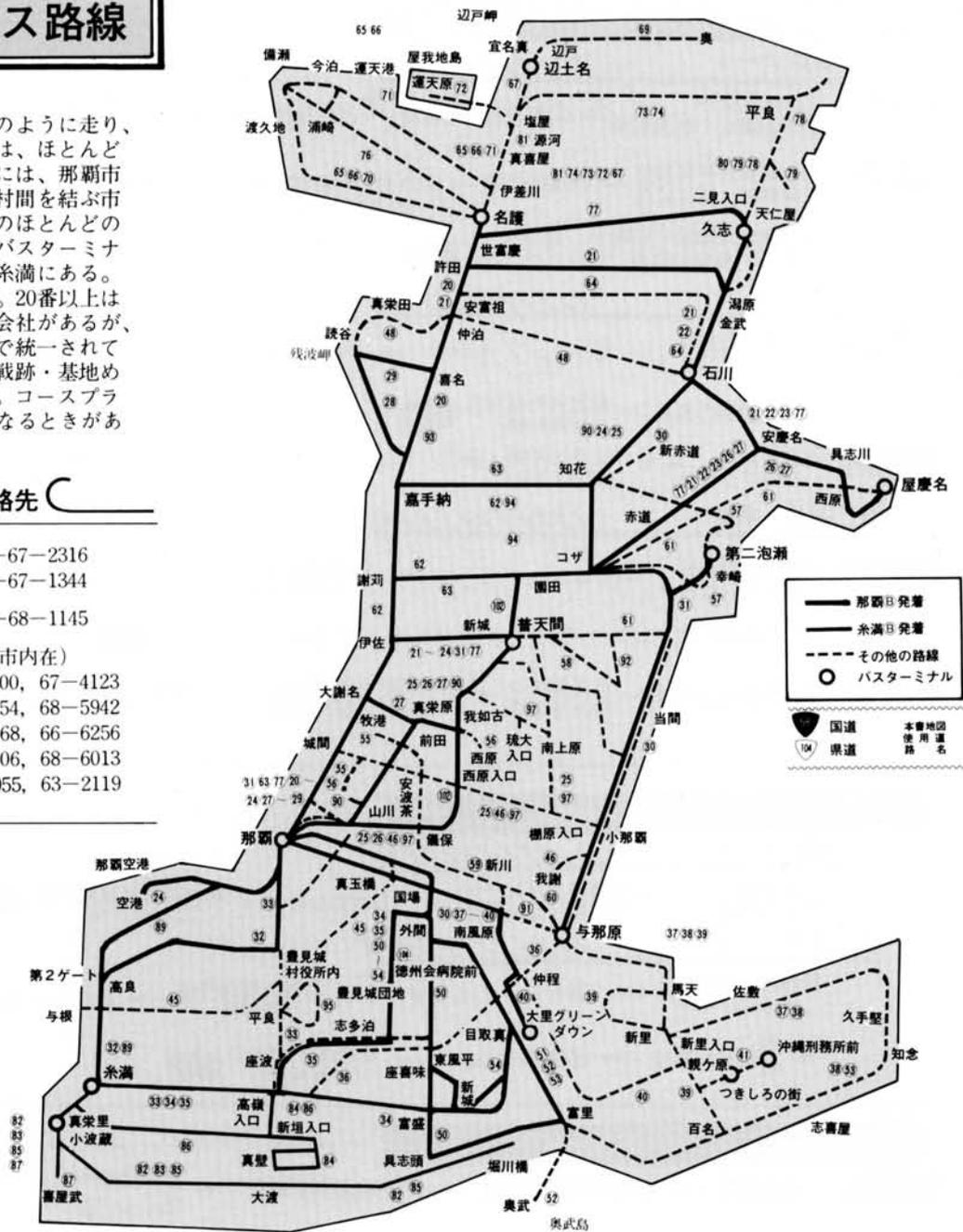
- ㉗那覇空港・那覇軍港 → ㉕嘉手納基地 → ㉖伊江島の戦跡・基地

戦跡・基地バス路線

本島内はバス路線が網の目のように走り、おもなポイント間の移動には、ほとんど不自由をしない。路線バスには、那覇市内を走る市内線と、各市町村間を結ぶ市外線の2つがある。市外線のほとんどの起点是那覇市泉崎の市外線バスターミナル。那覇以外では、名護と糸満にある。系統番号1～17番が市内線。20番以上は市外線である。4社のバス会社があるが、同一の路線は同じ系統番号で統一されている。本書で扱う路線は、戦跡・基地めぐりに必要なバス路線です。コースプランの組み方では乗りかえになるときがあります。

交通機関連絡先

- ・バス協会 (0988) - 67-2316
- ・タクシー協会 (0988) - 67-1344
- ・個人タクシー
事業協同組合 (0988) - 68-1145
- ・レンタカー (那覇市内内)
57-0100, 67-4123
68-4554, 68-5942
63-5368, 66-6256
67-6106, 68-6013
66-3055, 63-2119



本書の効果的な使い方

- ルーズリーフ式ですので、必要なコースプランにそって、取りはずし組み合わせが可能です。
- 10ページの白紙をそえてありますので、自分の資料用として自由に活用することができます。
- ルーズリーフ式は、自分の興味・関心のある情報をつけ加えることができ「手づくりの自分専用の本」にすることが可能です。



資料協力

沖縄タイムス
琉球新報社
沖縄県立図書館史料編集室
那覇市史編集室
沖縄県高等学校教職員組合

写真協力

沖縄タイムス
琉球新報社
那覇市史編集室
名護市役所
沖縄県高等学校教職員組合
沖縄県庁

米国防総省 米陸軍省 米海軍省
米海兵隊本部 米国立公文書館

大田昌秀
青山洋二
大山朝常
阿波根昌鴻

編集協力

紫 (フェニックスプロモーション)
儀保克幸
上原秀樹

歩く・みる・考える沖縄

本体価格一、五〇五円(十税)

昭和61年8月1日 初版発行
昭和61年10月1日 第二版発行

編集

沖縄県高等学校教職員組合
南部支部平和教育研究委員会

発行所

合資会社 沖縄時事出版
沖縄県那覇市壺川二五七―五
郵便番号九〇〇
電話(〇九八八)―五四―一六二二

発売元

株式会社 沖縄学販
沖縄県那覇市壺川二五七―五
郵便番号九〇〇
電話(〇九八八)―五四―一六二〇

◎ 落丁本・乱丁本は、小社宛にお送りください。
送料小社負担にてお取り替えいたします。